



鳴子温泉バイナリー発電所 (旅館すがわら)



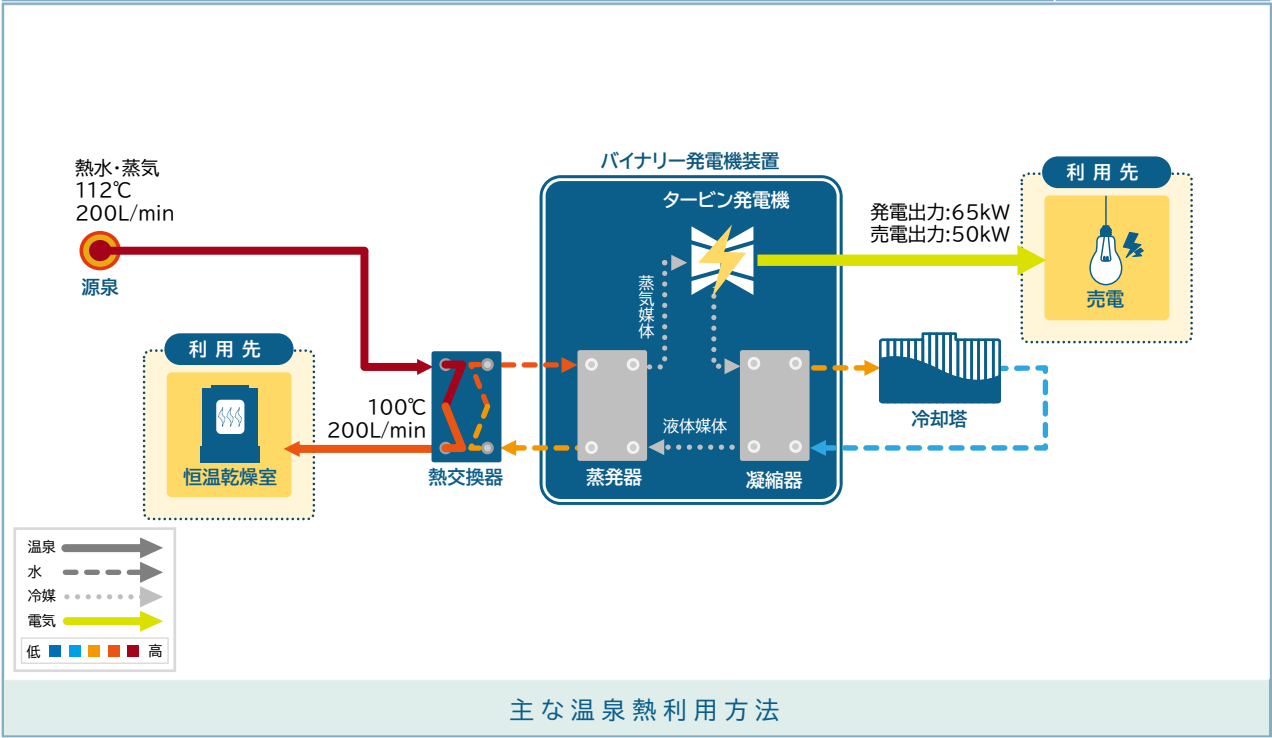
概要

旅館すがわらの源泉から湧出する約140℃の蒸気及び熱水を利用し、株式会社地熱開発と設立した合同会社でバイナリー発電に利用、売電をしている。二次利用として恒温乾燥室で食材の乾燥にも利用している。

鳴子温泉地域は多数の源泉があり、各宿泊施設がボイラを持たずに給湯や暖房で温泉熱を活用している。



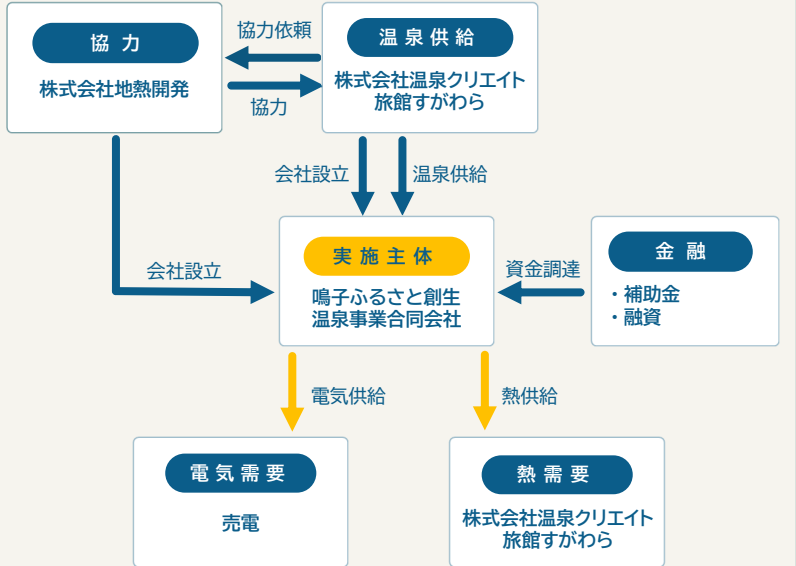
泉 質	ナトリウム塩化物硫酸塩泉	CO ₂ 排出量 削減 効果 60 t-CO ₂ /年相当 削減 ※1
熱利用温度	112℃	
利 用 温 泉	既存温泉	
総 事 業 費	8,000万円	



※ 本事例は「令和5年度温泉熱等の有効活用等普及促進調査等委託業務」にて調査・整理した事例であり、掲載情報は調査当時のものであることから、詳細な状況は変更されている可能性があります。

※ 1: ランニングコストが不明のため、ランニングコスト削減効果は算出しておりません。

実施体制



※ 実施主体である事業会社は株式会社温泉クリエイト 旅館すがわらと、株式会社地熱開発の二社で設立

事業検討の流れ

